

# やさい週間情報(第26号)

平成29年10月6日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	4,800~4,600	4,500~	-	1本売り (2L・L) 398~298円	<p>本県産中心に北海道産の販売。</p> <p>本県、北海道産の潤沢な入荷が続いていることや、安価な転送品の出回りが多く、加えて両産地の品質不良も見られていることから、販売環境の悪い状況が続いている。</p> <p>流通段階で価格の高い在庫を抱えているために売価を下げる動きにはなっておらず、市場滞荷も見られる。</p> <p>気温の低下から消費が減退するなかではあるが、消費宣伝会を実施するとともに、売価を下げてもらうことを要請しながら、荷動きの良化に努める。</p> <p>また来月初旬には29年産の入荷が見込まれることから、早めの選果終了をお願いします。</p>
		A3L	4,800~4,600	4,500~			
		A2L	4,500~4,300	4,200~			
		A L	4,200~4,000	4,000~			
		A M	3,600~3,400	3,500~			
		B4L	4,500~4,300	4,200~			
		B3L	4,500~4,300	4,200~			
		B2L	4,000~3,800	4,000~			
		B L	3,600~3,500	3,500~			
		B M	3,300~	3,300~			
		C2L	3,300~3,000	3,300~			
C L	3,000~2,800	3,000~					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	5,000~4,500	4,500~	多い	1本売り 498~398円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>引続き、本県産・北海道産ともに潤沢な在庫が続く中で、安価な転送品が流通しているうえ、末端の売場が縮小となっていることや末端売価が変わらないことから、荷動きは鈍く厳しい販売が続いている。</p> <p>市況は下がっているものの、仲卸が高い在庫を抱えているため、売価も下げきれていない状況となっており、来週以降についても弱含みでの販売が続くものと思われる。今後は末端売価を下げた中での消費宣伝会の実施を図り、荷動きの回復に努めていく。</p>
		A3L	5,000~4,500	4,500~			
		A2L	4,500~4,000	4,000~			
		A L	4,300~3,800	3,800~			
		A M	3,800~3,500	3,500~			
		B4L	4,000~3,500	3,500~			
		B3L	4,000~3,500	3,500~			
		B2L	3,700~3,300	3,300~			
		B L	3,500~3,200	3,200~			
		B M	3,200~3,000	3,000~			
		C2L	3,200~3,000	3,000~			
C L	3,000~2,500	2,500~					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,500～ 4,500～ 4,000～ 3,500～ 4,000～ 4,000～ 3,500～ 3,000～ 3,000～ 2,800～	4,000～ 4,000～ 3,800～ 3,600～ 3,500～ 3,500～ 3,000～ 2,800～ 3,000～ 2,500～		カット 88～59円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 引続き安価な転送品の出回りは多く、直荷の販売に影響を及ぼしており、厳しい販売環境となっている。今まで量販店等ではながいもが利益商材として扱われていたため、末端売価は高止まりしていたが、徐々に下がってきており、特売等の動きも増えてきている。ただ、仲卸等で価格の高い在庫を抱えていることから、下がり方は鈍い。 来週についても、価格は弱含み推移となる見込みだが、消費宣伝会を積極的に開催し荷動きの回復に努める。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	5,200～5,000 5,200～5,000 4,700～4,500 4,200～4,000 4,700～4,500 4,700～4,500 4,500～4,300 4,000～3,800 3,500～3,300	5,000～4,800 5,000～4,800 4,500～4,300 4,200～4,000 4,500～4,300 4,500～4,300 4,200～4,000 3,800～3,600 3,300～3,000		カット 100g 88～68円	本県・北海道産の流通量が増えていることに加え、極端な安価な転送案内が多く、ながいも全般に価格は下げ基調で推移している。 量販店からの発注量も大きな変化はないことから、流通在庫も増えつつあり、また、イタミの発生率が増えていることも荷動きの鈍さの一因となっている。 来週も柔軟な価格帯によって、現在の売り場の維持および売価の下げを各社と図る。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	5,000～4,500 5,000～4,500 4,500～ 4,000～ 4,500～4,300 4,500～4,300 4,000～4,000 3,800～3,700 3,500～3,300 3,000～	4,500～ 4,500～ 4,500～4,200 4,000～ 4,000～ 4,000～ 3,800～ 3,600～3,500 3,500～3,300 3,000～	なし	1本売り 480～円  カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 本県産の入荷量が増量となったこと、気温の低下から荷動きも鈍くなっていることから、市況は全体的に一段下げ。安価な転送品の増加や、イタミ等の発生も、仲卸・量販店の買い控えを助長している。 来週については、東市場への入荷は変わらないものの、荷動きの緩慢な状況は続くものと思われ、市況は弱含み推移の見込み。

品名 にんにく No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷はこれまでよりも更に少なくなり、全体的に不足感が見られ、引き合いの強い状態が続いている。出荷比率の低い 2 L 級は強めの展開だが、出荷比率の高い M 級についてはやや弱めの相場展開となっている。 ここ数週間は、にんにくの入荷がない市場も多く、出荷の要望が日々強くなっているため、早期の出荷をお願いします。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,600~ 2,400~ 2,000~1,800 2,400~ 2,200~ 1,800~1,600	2,600~ 2,400~ 2,000~1,800 2,400~ 2,200~ 1,800~1,600	少ない	L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 今週も他農作業の影響から、出荷量が少ない状況が続く中、入荷の多い M 級については保合いとなっているものの、2 L・L 級については一段価格を上げての販売となっている。 来週以降についても、引続き強めの販売が続く見込みとなっていることから、出荷対応よろしくお願い致します。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~ 2,400~2,000 1,800~	2,500~ 2,400~2,000 1,800~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 入荷が少なく、不足感から引合いは非常に強い状況となっている。また、量は少ないものの、店頭では北海道産のにんにくを置き始めている店舗も出てきている。さらに、全体量の少なさから、在庫はほぼない状況となっている。 来週については、入荷量は幾分増えるものの、同様の傾向が続く見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500			本県産の入荷がほぼなく、価格は堅調に推移しているが、量販店への手当てができない状態となっている。 売り場は、国産に加え中国産・スペイン産の売場が拡張され、メキシコ産の売込みもある。 当面現状の状態が続き、引合いは強いものの、本県産の不安定な入荷量に伴う単価高が懸念される。
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,600~ 2,200~ 1,800~	2,600~ 2,200~ 1,800~	なし	L 1 P 298 円	引続き、県内市場以外に入荷が無く、不足感が非常に強い。発生率の少ない 2 L 級の引合いが強いが、入荷量が少なすぎるため L 級の引合いも強まっている。 本県産の入荷が回復しつつ 10 月下旬までは、市況は強保合での販売となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 1

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A2L AL AM 群馬県産 AM	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000 1,800~1,600	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000 1,800~1,600			<p>関東近在産中心に本県産の販売となっている。</p> <p>引き続き入荷の少ない状況が続いており、連休絡みから注文も多く、LM級を中心に引き合いは強まっている。業務関係については、依然として群馬県産・茨城県産の在庫を持ちながらの販売となっているため、3L、2L級を中心にやや弱めの相場展開となっている。</p> <p>量販店の売場は徐々に秋商材へと切り替わっており、本県産の出荷が本格化を控え、本県産への切り替えを図るため継続的な出荷をお願いします。</p>
名古屋	本県産 群馬県産	AM A2M AS A2S	2,300~ 2,300~ 2,000~ 1,600~	2,300~ 2,300~ 2,000~ 1,600~		2M2本入 258~198円	<p>本県産および北海道産中心の販売となっている。</p> <p>他農作業の影響あり出荷量が増えきらない中、消費地の気温の低下もあり、末端の動きは良好となっている。量販の定番の2Pで使用する2M、Sを中心に安定した引合いとなっており、堅調な販売が続いている。</p> <p>本県産の売場拡大に向けて、安定した出荷対応よろしくお願い致します。</p>
大阪	北海道産 本県産	A3L A2L AL AM A2M AS A2S	1,400~ 1,600~ 1,800~ 2,200~2,000 2,200~ 2,000~ 1,800~	1,400~ 1,600~ 1,800~ 2,200~ 2,200~ 2,200~ 1,800~			<p>北海道産・本県産の販売。</p> <p>業務関係で抱えていた太物の在庫も解消され、全体的に荷動きは回復傾向となっている。また、引続きS級・2S級は入荷の割合が低いいため他階級に比べると引合いは特に強く、全体的には保合での販売となった。</p> <p>来週については、前段産地の入荷が減っていることと、北海道の産地が減少したことから、価格は強含みでの推移となる見込み。</p>
九州	本県産	A2L AL AM	2,000~1,800 2,200~2,000 2,300~2,200	2,000~1,800 2,200~2,000 2,300~2,200			<p>九州各産地は概ね連休明けで終了となるが、流通在庫が残り量販店の売り場は本県産との併売となる見込み。</p> <p>九州管内も朝晩は涼しくなったが、日中の気温は高めで推移している影響により荷動きは良くはなく、売り場は拡張されていない。</p> <p>現在までは太物が少ない出荷内容となっているが、今後の内容を見極め、各社との情報交換により売り場の構築を図る。</p>

品名 ご ぼ う No.2

東 北	本 県 産	4 k g				本県産および群馬県産の販売。 本県産の入荷量はやや増加となっているが、気温の低下から末端の需要が出てきており、荷動きは良好。 ただ、前段産地の群馬県産の残量が太物中心の入荷となっており、3L、外品など、加工向けの階級を中心に弱含み推移となっている。 来週についても、本県産の入荷はまだ増量とならないことから、市況は保合推移の見込み。
	群 馬 県 産	A 3 L	600~	600~		
		A 2 L	700~	700~		
		A L	800~	800~		
		A M	900~	900~		

品名 だ い こ ん

事務所	主 産 地	主 力 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
東 京	北 海 道 産 本 県 産	A 2 L A L	600~ 700~	600~ 700~	—	1 本 198~178 円  ハーフカット 98 円	北海道産中心に本県産の販売となっている。 北海道産、本県産共に入荷はL級中心の入荷で総体的には少なめの推移となっている。連休前で積極的な売り込みから、一時的に引き合いは強まったが、他野菜の価格下落から販売については保合いでの推移となった。 北海道産については来週末までには終了する見込みだが、関東近在産は連休明けから始まることから、来週については弱保合いで推移する見込み。
名古屋	本 県 産 岐 阜 県 産 北 海 道 産	A 2 L A L	700~ 600 800~ 700	700~ 600 800~ 700		1 本売り 198~158 円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 今週いっぱい各産地とも順調な入荷が続いたことから、価格については弱含みでの販売が続いている。 来週については、北海道産が徐々に減少となるものの、北陸や九州などの後続産地が始まり、総体量は大きく変わらないため、価格については弱含みでの販売が続くものと思われる。
東 北	本 県 産	平 場 A 2 L A L  高冷地 A 2 L A L	700~500 800~700  1,000~800 1,100~	700~500 800~700  1,000~800 1,100~	—		本県・北海道産中心の販売。 今週は本県・北海道産ともに潤沢な入荷となったなか、依然として荷動きは鈍く、市況は弱含みとなった。 来週についても、各産地入荷量は変わらないことから、市況は軟調推移となる見込み。

品名 こ か ぶ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	A2L A L 5玉結束	800～700 800～700 80～50	800～700 800～700 80～50			<p>本県産中心に関東近在産の販売。 本県産の順調な入荷量に加え、関東近在産の入荷も増量基調となっており、総体量は増えてきているため非常に厳しい販売が続いている。 本県産については品質面での改善が見られ数量も増えてきているものの、売り場が本県産から関東近在産への切替も進んでいるところもあり、厳しい販売が見込まれるため、消費宣伝を実施し売り場の確保に努める。</p>
名古屋	本県産 石川県産 富山県産	A3L A2L	800～700 700～600	800～700 700～600			<p>本県産・北陸近在産中心の販売となっている。 北陸近在産の出荷量が増え、本県産の売場が徐々に狭まってきている。他県産は、本県産の3L級以上大玉が主体のため量販店の売場は他県産に切替わっており、本県産は小売店や業務関係中心の販売となっている。 来週以降、北陸近在産の出回りがさらに多くなるため、弱保合いでの販売が続くものと思われる。</p>
大阪	本県産	A3L A2L A L	1,000～800 1,500～1,000 1,000～800	1,000～800 1,500～1,000 1,000～800			<p>本県産中心の販売。 一部で、玉の褐変等の品質低下品は見受けられるものの、他産地からの入荷がほぼないことから、堅調な販売で推移している。 来週についても、価格は概ね保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	A2L A L	700～600 800～700	700～600 800～700			<p>本県産の入荷は安定した入荷が続いているものの、品質不良が散見されており、市況は弱含み推移となった。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は弱含みで推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,800~1,600 1,800~1,600 1,600~	1,800~1,600 1,800~1,600 1,600~			<p>東北産、北海道産と関東近在産の抑制物の販売となっている。</p> <p>引続き各東北産地は少ないが、関東近在産の入荷は減少し総体的にもそれほど多くはない状態で推移した。小玉や下位等級品の入荷が多いことと、連休絡みの需要からLM級中心に一段上げての販売となった。</p> <p>気温の低下から関東近在産の入荷もそれほど多くはならない予想のため、販売環境の回復が見込まれるが、引続き選果選別については十分に注意して対応していただきたい。</p>
	関東近在産	A M	1,200~1,000	1,200~1,000			
名古屋	本県産 岐阜産	A L A M	1,800~ 1,800~	1,800~ 1,800~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>本県産・岐阜県産ともに気温の低下に伴う着色不良や裂果が多くなる中、総体量が減少しており、また、連休・トマトの日に向けた特売も入っていることから、週後半に向けて引合いが高まった。</p> <p>来週についても、総体量は少なめで推移する見込みとなっており、強めでの販売が続く見込みとなっている。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	150~130 160~140 2,000~	150~130 160~140 2,000~			<p>東北産、北海道産中心に関東近在産の販売。</p> <p>東北以北の産地については入荷が少なく関東近在産の入荷が続いている。量販店等への提案は高い価格帯だったため、発注量は少なく、パック品・バラ品同様に荷動きの鈍い状況となっている。先週に引き続き厳しい販売環境となっている。</p> <p>来週についても関東近在産については順調な出荷が見込まれること、本県産を含む東北各産地については割れ等の品質不良品が増えてきたことから弱含みでの販売となる見込み。</p>

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	東北産 本県産	AL 袋	800～700 60～50	800～700 60～50			<p>東北各産地中心に茨城県産の販売。 岩手県産の増加および茨城県産秋作についても入荷が増量傾向となっている。その為バラ品、袋同様に価格を下げながらの販売となっている。 各産地入荷が増量しており、本県産を始め赤果の混入も時々見られることから、引き続き市況は弱めで推移する見込み。</p>
大阪	本県産 福島県産 兵庫県産	バラ AL 150g袋 AL	1,000～ 60～50	1,000～ 50～			<p>本県産中心に福島県産・兵庫県産の販売。 例年より冷込む時期が早く、各産地の入荷量は減少傾向となっている。また、本県産の赤果の混入は減少しており、品質面は向上した。なお、価格については先週までと一転して、150g袋の荷動きがバラに比べると鈍くなってきており、150g袋で弱含み、バラで保合での販売となった。 来週についても、同様の傾向が続き、価格は概ね保合推移となる見込み。</p>

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A2L AL	1,500～1,300 1,600～1,400	1,500～1,300 1,600～1,400			<p>東北各産地中心に、新潟産の販売。 各産地とも品質面については安定しており、順調な販売が続いている。本県産をはじめとする東北各県産の入荷量は少ないものの、関東近在産の入荷が増加傾向で、荷動きは鈍化しているため、弱保合いでの推移となっている。 今後、下旬にかけて各産地増量の見込みのため、相場はやや弱めの販売推移となる見込みだが、本県産の売り場の確保のため、消費宣伝会等の実施により売り場の確保に努める。引き続き選別の徹底および検品の強化をお願いします。</p>



品名 きゅうり

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,200~1,000	1,200~1,000			<p>東北各県産中心の販売となっている。</p> <p>気温の低下にともない各東北産地において出荷量は少なく、関東近在産の抑制作については順調な入荷となっている。総体量はそれほど多くないものの荷動きが鈍く弱保合いでの販売となった。</p> <p>消費地の気温も低下してきており、量販店は徐々に秋商材への切替が進んでいることから、今後についても弱めの相場展開が予想される。</p>

品名 にんじん

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	北海道	北海道産 A2L AL AM	800~ 600 1,000~ 800 1,200~1,000	600~ 800~ 1,000~			<p>北海道中心の入荷となっている。</p> <p>台風の影響はほとんどないものの、一部、肥大期の降雨により品質不良も多く加工品の出回りも多くなっている。産地では出荷調整を行っているが販売環境の改善には至っておらず全体的に販売苦戦が続いている。</p> <p>千葉県産についても生育は順調で、前進出荷となることから10月下旬にはピークとなる予想。今後、中下旬には更なる販売苦戦が見込まれるが、産地状況を事前に重点市場各社へ案内し、本県産の売り場確保に努める。</p>